

令和5年度事業報告書

令和5年4月1日～令和6年3月31日

特定非営利活動法人BRIDGE

1 事業の成果

ブラジル医療支援事業

当NPO協力施設であるINOVE(Institute Nova Esperanca)と協力し、ブラジル南マットグロッソ州ギアロペス市を中心とする医療支援活動を実施した。年間で、内科診療759件、臨床心理セッション253件を実施した。

医療支援活動は現在も継続しており、当NPOのホームページで随時報告している。

AIR Pneumoプロジェクト支援

昨年度に引き続き、AIR Pneumoの更新試験をオンラインで開催し、2名の日本人が受験した。

2023年10月、インドネシアにおいて「アジアじん肺レントゲン写真読影医養成講座」が開催され、新規29名(内19名合格)、更新6名(内2名合格)が受講および受験した。

2023年12月、タイにおいて「アジアじん肺レントゲン写真読影医養成講座」が開催され、新規69名(内65名合格)、更新9名(内5名合格)が受講および受験した。

ウクライナ事業

高知ウクライナ友の会と協力し、高知県内で避難民を受け入れる活動を行った。

当NPOは高知ウクライナ友の会の事務局を引き受け、主に電話対応や会計、イベントの場で協力支援を行った。

ウクライナ避難民受け入れの状況としては、1名を受け入れた。

啓発事業

前年度である2023年2月23日に、被災者を支援するための街頭募金活動を実施したが、その支援者への感謝を込めて、高知県民を対象に、感謝講演会を5月に実した。この講演会にはトルコ大地震の被災地で医療新活動を行ってきた医師を講師として招いた。36名以上が参加した。

人道支援事業

2024年1月1日に能登半島地震が発生。当NPOは、高知県内の有志に協力し、被災地におよそ7万円分の食料や紙おむつ等を支援した。

2 事業の実施に関する事項

(1)特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
地域保健医療に関する調査研究及び各種保健事業	当NPO協力施設における医療及び検査支援プロジェクト	通年	マツグロソドスル州ギアロペス市	3人	ブラジル南マツグロソ州ギアロペス市を中心とする地域住民のべ1012名
地域保健医療に関わる人材育成事業	AIR Pneumoプロジェクト支援	通年	日本、南米、アジア諸国	3人	アジア・南米諸国の粉じん職場労働者
その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	ウクライナ避難民への支援活動	通年	高知県	3人	ウクライナから高知県への避難民1名
	能登半島地震被災地へ支援物資を送る	1月4日	高知県	1人	能登半島地震被災者
目的に対する日本国内外での支援者募集のための啓発活動	トルコ大地震被災地の医療支援活動に関する講演会を開催	5月21日	高知市内	3人	講演会参加者36名以上

(2)その他の事業

なし。